



水門川でガサガサ調査を行う参加者（貴船広場付近）



左： 揖斐川中流域を担当する河川愛護モニターの残馬さん
右： 細野揖斐川第二出張所長

『河川愛護モニターと協働参加！』 すいもんがわ 水門川で川底学習会など

• 美しい水門川を未来に残そうと大垣市内を流れる水門川で7月26日（土）、「第13回歩いて観よう水門川クリーン作戦&川底学習会」（主催：水門川クリーン作戦実行委員会、岐阜県大垣土木事務所）が行われ、水門川に住む生き物について学びました。一般募集で集まった小学生児童約40名が、貴船広場周辺の川の中に入り、川底に生える水草の中にタモを突っ込み、ガサガサ調査を行うと、アユ、スズキ、ヨシノボリ、カマツカなど17種の生き物たちを捕獲。その後、貴船広場で行われた学習会では、講師を務めた児玉さん（TSUCHIYA株式会社 環境事業本部）から、それぞれの生き物の名前や特徴が紹介されると、参加した児童たちは配られた用紙に、川底の様子やどんな生き物が住んでいたかを書き留めた。生き物と自然環境に詳しい児玉さんは「海に生息するスズキが生息しているということは、水門川が海と繋がっている証。水門川を守ることは地球を守ることに同じ」と自然保護と身近に流れる川の愛護を訴えました。



ニゴイ



アユ



スズキ



ヨシノボリの仲間